

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。

デジタルドリル活用実証研究推進プラン 土佐町教育委員会		研究協力校または指定校 小学校 土佐町小学校 中学校 土佐町中学校	校長名 松山 文俊 校長名 松山 文俊	学校教育目標 学校教育目標	自尊感情を高め、自信とやる気をもった児童・生徒の育成	
本事業推進に向けての方針		学年毎のICT機器使用頻度のばらつきや小学校5年生以降のデジタルドリル活用開始時のギャップを解消するため、本事業の補助対象外となる小1～小4に対しても、本町単独事業としてデジタルドリル(本事業で導入するアプリと同じもの)を導入・活用し「学びの変革」に取り組む。また、現時点で実施できていない端末の持ち帰りを積極的に実施し家庭学習の充実や、コロナ禍での自宅待機期間や不登校児童生徒の授業の遅れをカバーする。 さらに、本事業を実施するで、教材等の購入コストの低減、紙の削減等環境の配慮にも寄与する。				
年度当初の学校や地域の状況		目標		年、度末の指定地域の到達目標達成状況		
■貴教育委員会のみならず、学校や地域等の強みや弱み、本事業に係る課題等を記述してください。 本町では令和3年度に小中学校での1人1台端末の整備が整い、授業での活用を開始しているが、デジタルドリル等の有効活用には至っていない。 整備した端末を十二分に活用し、子どもたちの知識の習得のために個別最適化を図るためには、AIドリルの個々に対応した学習の仕組みが必要であると考えている。 すべての教員がデジタルドリルの活用スキルを身に着けるため、定期的に教員、児童・生徒向けにスキルアップ研修や、模範授業(ゲストティーチャー)を通じてデジタルリテラシー不足の解消とICTを活用した教員の指導力向上を図る。 また、導入後は学習教材等のスマート化等により教職員の負担軽減を図るとともに、併せて本町が掲げるSDGsの目標(関連2項目)達成に向けた取り組みを推進していく。		■いつまでに、何を、どうするのか、1年目の目標を具体的に記入してください。 ○家庭にインターネットを活用して学習ができる環境がある児童生徒の割合(R6.3月までに100%達成) ○全学年において、各クラス1日1回以上「1人1台環境」でデジタルドリルを活用した授業を実施する(R6.3月までに100%達成) ○全学年において、毎日学習用端末の持ち帰りを実施する。(R6.3月までに80%達成) ○管内学校の児童生徒の学習意欲の向上(学習意欲の向上した児童生徒の回答80%以上) ○教員のICT活用指導力の向上(R6.3月までに) ・教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力 肯定的評価70% ・授業中にICTを活用して指導する能力 肯定的評価70% ・児童・生徒のICT活用を指導する能力 肯定的評価60% ・情報活用の基礎となる知識や態度について指導する能力 肯定的評価60%		達成状況 ○家庭にインターネットを活用して学習ができる環境がある児童生徒の割合:100% ○各クラス1日1回以上「1人1台環境」でデジタルドリルを活用した授業を実施する:60% ○毎日学習用端末の持ち帰りを実施する:0%(週1～3回) ○学力が向上したと感じた児童生徒:4%増(R4年比)	考察 家庭におけるインターネット環境については、モバイルルータの貸与により整備できた。 中学校1、2年、小学校6年のクラスではデジタルドリルを教材として毎日活用した。また、持ち帰り学習は小5で週2、3回程度、小6で1、2回程度。中学校では週末のみ持ち帰りを行った。 デジタルドリル導入にあたっての懸念点(教員)として「教科書とのずれ」や、「情報モラルの教育を十分に行う必要がある」等が挙げられる。	
目標達成のための取組						
項目	具体的な達成目標	取組計画(4月～3月)			達成状況	評価
デジタルドリル活用の推進体制の整備及び進捗状況の把握	2カ月に1度、事業関係者(校長、教頭、研修指導員、情報担当教員、教委担当者、ICT支援員等)で構成する連絡会を開催し、情報共有や実践交流を通して、組織的・効果的な取組を推進する。	5月:デジタルドリル登録作業・利用開始、第1回担当者会(有識者による学習会) 7月:定例会① 9月:定例会② 11月:アンケート実施(児童生徒・教員対象) 12月:第2回担当者会(実践交流・有識者による助言及び講話)、定例会③ 3月:定例会④、次年度計画策定			定例会開催については、 県地域教育振興事業に係る定例会に合わせて実施した。 教員及び児童生徒対象アンケートの実施(6月、11月)	B
指定校または研究協力校の取組・成果等の発信及び普及	町のホームページで取組の様子や成果などを掲載したり、参観日や学校運営協議会などで保護者や地域に知らせたりして、発信していく。また、他校の取組を地教委連絡会や職員会などで報告し、管内の学校の取組の改善・充実を図る。	5月:第1回担当者会、スキルアップ研修①、デジタルドリル活用準備(試用) 6月:デジタル活用開始 7月:スキルアップ研修②、校内アンケート実施 8月:効果検証①(成績、校内アンケートの分析) 10月:スキルアップ研修③、 11月:児童生徒・教員対象アンケートの実施 12月:第2回担当者会 3月:効果検証②、次年度の計画策定			情報担当教員を中心にデジタルドリルの操作方法や活用方法等について校内研修を実施した。 町ホームページで取組の様子や成果を掲載した。	B
(自由設定欄)						

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。